仕　様　書

1. 件名

医用画像出力ソフトと CD パブリッシャーの購入

2. 数量

CD パブリッシャー装置　1 式

CD 作成用のアプリケーションソフトウェア　1 式

CD パブリッシャー装置制御用兼、アプリケーション操作用端末　1 台

3. 目的

重粒子医科学センター病院（以下、病院）では、MRI 撮影装置や CT 撮影装置などのモダリティで撮影した医用画像を CD に出力し、受診者本人に渡しているが、既存機器は 5 年目を控え老朽化してきている。また、レーベル印刷がアルファベットのため視認性が低く取り違えなどのリスクがある。そこで、レーベル印刷の日本語化と標準規格に基づく書き込みデータのステータス管理を行うことができる機器を新規に導入する。

4. 装置の性能

(1) 全体

① 既存の病院情報システム（医事会計システム／電子カルテシステム／放射線部門システム)、病歴データベース（AMIDAS)、医用画像管理システム（PACS）などに障害や影響を与えず、協調して動作すること。

② システムの詳細仕様項目については、担当者と打ち合わせを行い、決定すること。

③ ハードウェア及びソフトウェアの基本的要件及び詳細仕様については、添付書類 A「CD パブリッシャー詳細仕様書」に記載されている仕様を満たすこと。本仕様書と詳細仕様書は相補関係にある。両方の仕様書を満たすこと。

④ 本件契約を、本仕様書及び詳細仕様書に従って履行するために必要な経費はすべて本契約に含むものとする。ただし、電力料金及びやむを得ず利用する回線使用料金についてはこの限りではない。既存の他契約者との間でシステム試験調整等に費用を要する場合には、原則、本件契約者が負担すること。

(2) システム概要

① DICOM 画像サーバーから DICOM Q/R にて検査単位もしくはシリーズ単位にて画像を取得し、IHE-PDI に準拠した形で CD にビューアー付で

DICOM 画像を書出す機能を有すること。

② IHE で定義される Patient Demographic Query 機能を用い、Patient Demographic Supplier より患者基本情報を取得し、ラベル面に患者氏名を漢字で印刷する機能を有すること。

③ 出力のための操作は、他システム用端末等にインスールされている Web ブラウザを利用して行えること。この場合、最大で同時に１０アクセスまで作成指示を出すことができること。

④ 現行システムの運用フローで要している、CD 媒体の出力操作開始から出力完了までの時間を担保する構成を提案すること。(導入後期待したスループットが得られない場合は原因を調査・特定し、放医研・担当社双方の了解が得られるまで改良する作業を本調達に含むこと。)

(3) システム導入・設定作業

① 提案するシステム構成により PACS 側の設定変更が必要な場合の費用は、本調達に含むものとする。

② 導入・稼働時には説明資料を作成し、管理者・ユーザに対して説明会を開催すること。

③ 導入にあたりユーザへの操作説明及び訓練・運用立会いを十分に行うこと。運用立会いは少なくとも 2 日は行うこと。

(4) 標準規格・ガイドラインへの対応

① DICOM 規格 Part15 "Security and System Management Profiles" を利用して画像に付帯された確定操作に関する情報（実施日時・実施者など）を出力画像に保存すること。出力の際には添付資料 A に記載した DICOM タグに関する情報を編集すること。

② 日本放射線技術学会・日本画像医療システム工業会、保健福祉医療情報システム工業会、日本 IHE 協会、日本医療情報学会、日本放射線技師会が合同で提示している「患者に渡す医用画像媒体についての合意事項 改訂版」に基づき運用を行う。そのため、技術面においては合意事項を遵守した、システム構成を提案すること。

(5) 納入機器等の保証・運用

納品完了後 1 年間（H26 年 11 月 1 日から H27 年 10 月 31 日）の納品物の保証については、すべての情報機器等およびソフトウェアソフトについて、初期不良、通常の使用により故障した場合の修理、OS・ソフトウェアの動作不良の改善など（以下「障害等」）の対応を以下の内容で、無償で行うこと。

1) 障害対応は、メール・電話などの方法、または必要に応じてオンサイトの手段を用いて行うこと。なお、オンサイトによる対応の際の出張料金は本

契約に含むこと。

2) 障害等の受付窓口は、月曜日から金曜日の 9:00～17:00 までとし、メール・電話などの方法、または必要に応じてオンサイトの手段を用いて行うこと。ただし、病院の診療・治療業務が祝祭日、年末年始（12/29～1/3）に行われる場合は、電話・メールなどにより対応すること。業務が停止するなどの重大な障害が発生した場合は、必要に応じてオンサイトで対応すること。

3) ２年目以降の保守にかかる費用の金額を提示すること。

4) 障害発生時には、迅速な対応が可能な体制を維持すること。提案時に保証体制を提示すること。

5) ハードウェア故障の際には修理を実施すること。修理に伴う消耗品も本調達に含むものとする。修理に時間を要する場合は、必要に応じて代替機などの対応を行うこと。

6) 運用のために必要な資料、システム設定情報の資料は、常に最新情報に更新して保存・管理すること。

7) 納品完了後１年間に、他システムの更新が発生した場合は、必要に応じて、打合せや情報提供等に対応すること。

(6) その他

① 提案にあたり、予定する作業スケジュールを提出すること。

② 技術提案書の作成に当たって

仕様書に対する回答は、「出来ます」や「提供します」ではなく、「標準パッケージで出来ます」「標準パッケージの調整の範囲で出来ます」「本調達費用の中で新しく作り込みます」のいずれかで出来ることを明示すること。また、その方法を示すように要求があるところでは、具体的に方法を提案すること。記載が曖昧な場合、「実現が可能である」と判定できない場合がある。また、本調達に当該機能を実現するための金額が含まれない仕様については、「出来ません」と記述すること。

③ DICOM 規格に関する技術提案書の説明については、DICOM の Conformance Statement を提示すること。

④ IHE の統合プロファイル／アクタの技術提案書の説明については、提案する製品の統合宣言書を提示すること。

5. 納入物品

以下の資料を紙媒体で 2 部、CD 保存による電子ファイルを 1 部、納入すること。

① 納品したハードウェア機器の性能・仕様

② 納品したソフトウェアの機能一覧

③　納品した機器とソフトウェアの設定情報に関する一覧
④　納品した機器とソフトウェアの操作説明書（管理者用機能も含む）
⑤　納品したソフトウェアと他システムとの連携に関する仕様書
⑥　本システム導入のための導入スケジュール
⑦　本システムの導入に関する、機器・ソフトウェアの検査結果報告書
⑧　本システム導入に係る作業の報告書

6. 期　限

H26（2014）年 10 月 31 日

7. 納入場所

放射線医学総合研究所重粒子医科学センター病院棟 2F 放射線診断受付と、担当者が指定した場所であること。

8. 検収

納品完了後、職員立ち会いのもとに所定の検査を行い、これに合格したことを持って検収とする。

9. 著作権

本システムのために製作したアプリケーションプログラムについては、受注者の著作権を侵害しないことを条件に、取扱説明書及び詳細設計書、ソースコードを納入すること。　また、本システムの放射線医学総合研究所が別途に作成した範囲の著作権は、放射線医学総合研究所にあること。

10. 守秘義務

本件契約の履行に当たって知り得た、当該及び関連システム内の全てのデータ並びに放医研ネットワークシステムに関する情報を許可無く外部に漏らしてはならない。また、保証運用の際に障害対応または回避の際に、患者情報などの秘匿情報を当研究所の許可無く当研究所外に持ち出してはならない。当研究所のセキュリティ・ポリシー及び個人情報保護の対策に従うこと。本項遵守のため、本件を担当するメーカは、ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）の認証を取得していることが望ましい。

部課名　重粒子医科学センター　医療情報室
担当者　奥田　保男　印